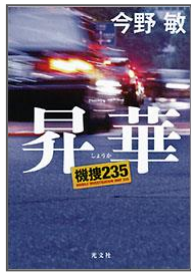


新刊ピックアップ



「昇華」今野敏 著 光文社／衆議院解散に伴う総選挙が決まった中、SNSに法務大臣・坂本の殺害予告が投稿された。警視庁機動捜査隊渋谷分駐所の高丸卓也と綿長省一は、坂本の選挙事務所内に潜入捜査に入り…。*Fコ



「皇后は闘うことにした」林真理子 著 文藝春秋／婚約破棄したわがままプリンス、選び抜かれた宮家の嫁、そして大正天皇の後…。その高貴な結婚は本当に幸せだったのか。皇族華族の縁談に迫った短編集。*Fハ



「婚活マエストロ」宮島未奈 著 文藝春秋／40歳のこたつ記事ライター・猪名川健人は、とある零細婚活会社の紹介記事を引き受ける。地味な婚活パーティーに現れたのは、驚異のカップル成立率を誇る伝説の司会者・鏡原奈緒子だった…。*Fミ



「謎の香りはパン屋から」土屋うさぎ 著 宝島社／大学生の小春は漫画家を目指しつつ、大阪府豊中市にあるパン屋でアルバイト。同じパン屋で働く親友の由貴子に、一緒に行くはずのライブをドタキャンされてしまう。誘ってきたのは彼女なのになぜ？2025年第23回『このミステリーがすごい！』大賞受賞作。*Fツ



「あやふやな記憶の本棚 思い出せないあの本、探します」あやふや文庫著 飛鳥新社／女性が女の子を誘拐して逃げる話で、昆虫の名前が入っている題名の本は？たくさんの人から寄せられた「本に関するあやふやな記憶」を紹介し、多くの読書家が推理した正解を掲載する。*904ア



「NHK3か月でマスターする江戸時代」NHK出版／現代につながる文化や学問、経済、政治の仕組みなどが生まれ発展した江戸時代。日本の歴史の転換点・江戸時代を学べば日本がわかる。歴史感覚を取り戻し養うことで、今後日本がどのような進路をたどるのかを知ることにつながる。最新研究を交え、江戸時代の通史をわかりやすく解説。*210エ



「なぜか好かれる「人前での話し方」岡本純子 著 東洋経済新報社／人前で緊張せずに、うまく話せるようになるには？1千人以上の社長・企業幹部の話し方を変えた「伝説の家庭教師」が、コミュニケーションの2つの柱である「どう話すのか」と「何を話すのか」について徹底解説する。*809オ



「今日、誰のために生きる？アフリカの小さな村が教えてくれた幸せがずっと続く30の物語」ひすいこうたろう 著 廣済堂出版／日本人から幸せな生き方を学んだという、アフリカ・タンザニアにあるブンジュ村。そこに絵を学びに行った画家が村の教えを振り返るとともに、潜在意識の専門家らが日本(人)の意味、役割をさまざまな方面から紐解く。*159ヒ



「ごはんが楽しみ」井田千秋 著 文藝春秋／好きなごはん、お茶、おやつ、お気に入りの食器。食べて、飲んで、日々繰り返し訪れる楽しみ。食にまつわるあれこれについて、気ままに描くコミックエッセイ。『CREAコミック&エッセイルーム』連載を再編集。*596イ



「そのギモン、カガクの子カラで答えます」日本経済新聞社／「なんだろう」から科学の冒険をはじめよう！おならはなんで出るの？顔認証はどうして分かるの？子どもが抱くギモンに、その道の専門家たちが丁寧に答える。科学的思考力が身につく本。*404ソ



「姿勢のゆがみ図鑑 日常動作のヤバいクセがイラストでわかる」柴雅仁 著 小学館／姿勢のゆがみをこまめにリセットすれば、疲れが抜け、見た目の悩みも解消！脚を組む、片脚に体重をかけて立つなど、あらゆる日常動作から「ゆがみ」を拾い上げ、イラスト化し、リセットする方法を紹介する。*498シ



「働きながら家族のごはんを作るために わたしが伝えたい12の話」藤井恵 著 大和書房／シンプルに手をかけすぎず、毎日続くごはん作りを簡単に！料理研究家・藤井恵が、毎日忙しくてもなんとか自分の手でごはんを用意したい人に、自身が働きながら家族に作ってきたレシピ、知っておくと役立つ工夫を紹介する。*596フ

としょかんだより

(下條村立図書館 174号 2025年1月1日発行)

新しい年を迎えました。令和7年7月7日、図書館が開館してちょうど30周年を迎えます。平成7年7月7日に2万5千冊の蔵書で始まった村の図書館も、現在は10万冊近い蔵書を誇ります。この30年の間に変わったものは、利用者の皆様の顔ぶれと年齢、そして読まれる本(資料)の種類。でも、変わらないものもあります。それは、おはなし会を夢中で聞くときの子どもたちの目の輝き々でしょうか。

としょかん大好き家族 下澤さんご一家

PART135
中平(緑屋)



中学生から赤ちゃんまで、5人の子育て真っ最中の下澤さんご一家です。

長男の優汰くん(中3・15歳)は、小学校3年生の夏、(人前で発表することが得意だったせい)担任の先生に「読み聞かせに向いているよ」と薦められて図書館ボランティアに入りました。

そのころ毎週土曜日の小学生ボランティアのおはなし会に参加していた次男の咲哉(さくや)くん(中1・13歳)は、生き物が大好きで、おはなし会のあとに皆で行く「トンボ田んぼ」探検(第4土曜日)にも楽しそうに参加していました。

長女の姫花子(ひなこ)ちゃん(2年生・8歳)もお兄ちゃんのおはなし会に通っているうちに、図書館の本、学校図書館の本、家にある本…さまざまな本と出会い、楽しみながら大きくなりました。そしていよいよ今年の11月、友だちと一緒に図書館ボランティアに入会！今、6年生の先輩からいろいろ教えてもらいながら、絵本や紙芝居をおはなし会で読んでいます。

そんなお姉ちゃんのおはなし会を楽しみにしているのは、次女の光莉(ひかり)ちゃん(年中組・5歳)です。小さい頃は「パパ、読んで！」とお父さんの優一さんによく読んでもらうことができました。今は、お姉ちゃんと同じく、自分が家族に読んであげるようになりました。読むときはもちろん、聞き手の前で絵本を開いて見せ、大きな声で読み聞かせ(^^)「光莉も図書館ボランティアに入るかも😊」とお母さんの紀子さんは話します。

紀子さんが子どもの頃、お母さんから読んでもらった絵本でとっても楽しかったのが、『ピーマンマン』シリーズ/さくらともこ作(PHP 研究所)でした！他にも『きつねのきつこのおはなし』シリーズ/こいでやすこ作(福音館書店)、『14ひき』シリーズ/いわむらかずお作(童心社)など、「自分がおもしろかった絵本は、子どもたちに紹介したり、読んであげたりしています」と話します。

三女の紗佳(すずか)ちゃん(11か月)は、ブックスタートでプレゼントされた『ころころころ』元永定正さく(福音館書店)が大好き。「ブックスタートでもらった絵本は5人で10冊。どの絵本も子どもたちが大好きで、今でもみんなで読んでいるからボロボロです。どれもいい絵本だってことですね！」と紀子さん。今日も、寝る前に1冊の絵本を読むと、にぎやかな一日が終わります(^^)

Park Library & Cafe @下條村立図書館

公園のように自由な使い方ができる しぜんと人が集まる図書館

開催しました
☕



小学生図書館ボランティアおはなし会終了後

2024. 12. 7 Sat 10:50-13:00

2024. 12. 14 Sat 10:50-13:00

ドリップコーヒー カフェオレ ココア
各 120 円 (コーヒー&お菓子)

「小学生図書館ボランティアを応援したい」という
思いから、訪れた利用者に自家焙煎のコーヒーを丁
寧にいれてくださったのは木下明日香さんです。

本も置けるように設計・デザインされたコーヒース
タンドを作ってくださったのは、集落支援員で一
級建築士の木下和之さん。企画や製作過程につい
ては、木下さんのインスタグラムをご覧ください。



木下さん自前のコーヒー豆をロビーで焙煎すると会
場いっぱいに関りが☕ブレイクタイムを演出する、
すてきな音楽もあいまって幸せなひと時でした。

本を借りたら包丁研ぎサービス IN下條村立図書館2024 報告

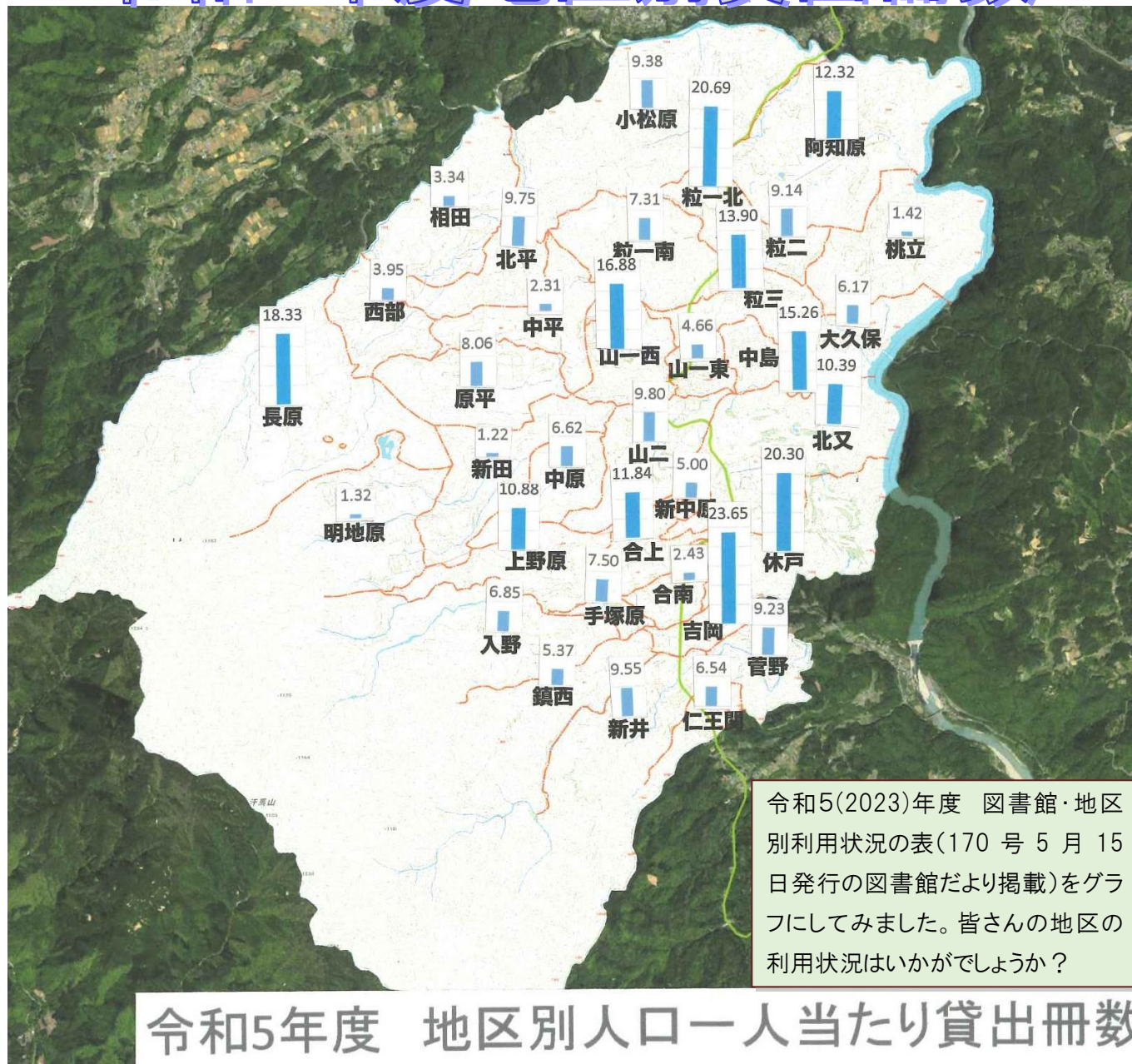
12月7日(土)10:00~17:00 あしたむらんど会議
室にて、今年も「本を借りたら包丁研ぎサービス」が開催
されました。堀尾伸夫さんの発案で 2017 年から続く大
助かり企画！8 回目の今年は、竹村宗次さん(新田)も
自前の研ぎ機を持ち込み協力してくださり、合計123本
の包丁を、手際よくピカピカに研ぎ上げていました！

包丁研ぎの参加者は 41 人、包丁研ぎ参加者が借りた
本数は297冊、この日全体で利用された本数は、
467冊でした。

図書館利用者の包丁を研ぐ堀尾さんと竹村さん →



令和5年度地区別貸出冊数



『村内各地区の区分け図』を作成したのは、集落支援員の木下和之さんです。2023.12.21 作成。



あしたむらんど玄関横のお正月飾り



一月十日、小正月飾りが飾られました



「中学生書き初め展」一月二十日まで開催

匠の会の皆さんが、昨年末には正月飾り、新年明けて小正月飾りを飾り付けてくださいました(^^)